

MIRAI REPORT

ISSUE. 002

- ◆地域金融機関による中小企業の知財戦略に向けた取り組み
- ◆経営課題をトータルサポートする情報プラットフォームサービス
- ◆根釧の経済概況（令和元年10-12月期）



地域金融機関による中小企業の知財戦略に向けた取り組み

地域みらい創造センター札幌オフィス 石井 絢子

地域金融機関に広がる「知財金融」の波

近年、地域密着型の金融機関の間で広がる新たな取り組みとして、「知財金融」があります。この「知財金融」とは、地域金融機関が知財を切り口として取引先企業の経営支援を行うことを指し、特許庁・金融庁を中心に推進されています。こうした動向の中で我々地域金融機関には、職員の知財知識を向上し、知財の観点から取引先の事業性評価や支援を行っていくことが求められています。当金庫札幌支店においても、一社)北海道発明協会主催のもとで弁理士の太田 清子氏を講師に迎え金融機関向けの「知財セミナー」が実施され、複数の金融機関職員が受講しています。

「知的財産権」とは何なのか

ここで、改めて「知財(知的財産)」とは一体何なのかというと、知的創造活動によって生み出されたもののことで、「知的財産権」はそれを創造した人の権利を保護するものです。一口に知的財産権といっても種類があり、商標権、特許権、実用新案権、意匠権等といった権利があります。それぞれの権利の保護対象については右のイラストを参照願います。



引用：北海道経済産業局 金融機関向け知的財産活用マニュアル

知財の活用サポート～「開放特許」～

北海道立総合研究機構(以下道総研)では、管理している知財のうち未使用のまま眠っているものを「開放特許」として他の企業等に使ってもらおうという取り組みを行っています。そうすることで、中小企業にとっては技術開発・研究費用等の負担を減らし、新しい技術を使用できるという大きなメリットがあります。なお、「開放特許シーズ」の一覧は「知的財産活用ハンドブック」にまとめられており、道総研のWEBサイトで内容を見ることができます。(右図参照)

ハンドブックにはシーズの一覧のほか、①新規事業、新規製品のアイデアとして活用する技術②現行製品や工程を改善・改良するための技術③実用化実績のある技術の3段階に分けて活用事例も掲載しています。



< 事例 >

- 腰の負担を軽減するアシストスーツの開発
- 乳酸菌 HOKKAIDO 株を使用したヨーグルトの開発等々

IoT 技術を守るための知財戦略

また、あらゆる企業に「IT 経営」への改革の波が押し寄せる昨今において、IoT の導入時に発生する知財問題も避けられません。新しい IoT システムを導入しても、権利保護しなかったために第三者に特許を取得され使えなくなったり、調査をせずにシステムを導入して第三者の権利に抵触してしまう、など、IoT 導入に潜むリスクは色々なものが予想されます。そのような事態を避けるために、知的財産権による早期保護が非常に重要となります。IoT 技術を含め、中小企業が保有している技術を守るための権利として、「特許権」と「先使用权」があります。

< 特許権 >

公知になる前に出願して広い権利範囲を確保するもので、出願→出願公開→審査→特許査定→登録→特許公開というのが大まかな流れ。特許権のメリットは、権利の存在が明確かつ強力であることですが、出願した段階で公開されてしまうため、特許として認定・登録される前に他企業等に競合技術を開発されたり、審査が通らなかった場合はただ開発技術が公開されただけになってしまうといったリスクがあります。

< 先使用权 >

特許権のような出願は不要で、①独自に知得 ②相手の出願日前から実施または準備 ③継続して実施の3条件を満たせば自動的に権利が発生するというもの。この権利は、特許のような手続きが不要であること、内容を非公開にできることがメリットにあげられます。ただ、特許とは異なり権利の存在が明確化されていないため、権利を立証するための証拠資料等の保管や秘密漏洩を防ぐための社員教育等、万全な措置を講じる必要があることに留意しなければなりません。

知財の活用と留意点

自社の大事な製品や技術が、他の企業や安く製造できる大企業等に模倣され、マーケットに参入されてしまうと、自社の市場規模が縮小したり、価格競争に勝てず事業継続が困難に陥る恐れもあるなど、経営に与える影響は大きなものとなります。

また、知財戦略を持たずに新技術や新商品の開発を行い、完成した技術や商品が他社の知的財産権を侵害する可能性があり、長い時間と費用をかけて行った投資は全て無意味となるほか、損害賠償請求される恐れもあります。ドラマ「下町ロケット」で中小企業の佃製作所がバルブシステムの特許権を持ち、大企業の帝国重工と渡り合う場面は記憶に新しいのではないかと思います。

知財戦略に向けた関係機関におけるサポート

このように知財戦略において、企業の意図と実際の効果を結びつけるためには、専門的な知識や幅広い事例の理解が必要不可欠となります。その問題を解決するために、特許庁を中心に中小企業へ様々な支援施策を提供しています。その支援施策の一部を下記に紹介いたします。

< 知財ビジネス評価書 >

特許庁が実施している「知財金融促進事業」のメニューであり、中小企業等の知的財産を活用したビジネス全体を評価した「知財ビジネス評価書」を金融機関に提供し、企業の強みや成長性、ビジネス全体の理解を促進し事業性評価を支援する取組み。知財を評価するノウハウの少ない金融機関をサポートし、独自の技術や強みを持つ企業の本業支援につなげる枠組み。

< 知財総合支援窓口 >

中小・ベンチャー企業が抱える経営課題やアイデア段階から事業展開までの知的財産に関する課題や相談をワンストップで受け付ける相談窓口。北海道では一般社団法人北海道発明協会が窓口実施機関。窓口相談のほか、専門家による訪問アドバイスも無料で実施しています。

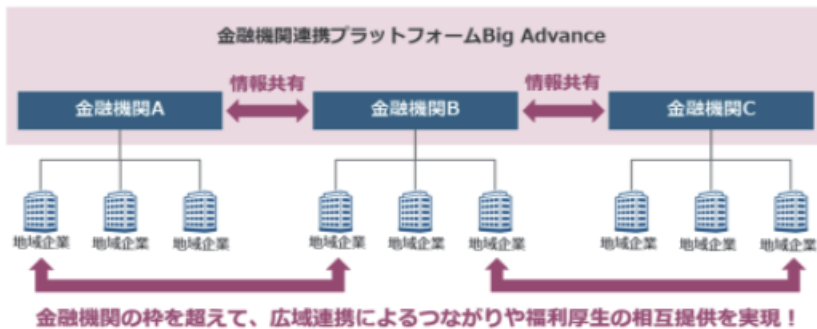
知財とのこれからの向き合い方

IT や AI による技術革新が急激に広がる昨今の経営環境において、中小企業においては従来の経営戦略に知財戦略を組み込んでいくことが今後重要になり、支援機関においても知財に関するノウハウの構築を進めるとともに知財支援を行っている関係機関とのネットワークの構築が求められています。

当金庫窓口においても知財に関するご相談を受付けており、支援機関や弁理士等の専門家の紹介が可能です。知財の活用に関してご不明な点等がございましたら、お気軽にお近くの大地みらい信用金庫へご相談ください

経営課題をトータルサポートする情報プラットフォームサービス

全国の中小企業・パートナー企業（大手企業・支援機関等）とつながろう！



全国 28 の金融機関が導入済み

約 13,000 社の会員企業と約 20,000 人の従業員が登録されています。
※令和 2 年 4 月 13 日現在のデータであり、今後も登録金融機関・企業ともに拡大を予定しています。

下記記載のすべての機能が月額 3,000 円（税抜）で利用可能です。

1. Daichimirai Big Advance とは

< 金融機関の枠を超えて中小企業を支援 >

全国の金融機関が連携し、地域の中小企業の成長を支援するプラットフォームです。金融機関の枠を超えた全国規模のビジネスマッチングから会社ホームページ作成、従業員向けの福利厚生サービスまで、幅広いサービスをご提供します。

2. 主な提供機能

◆ビジネスマッチング機能

< マッチングのご依頼は 24 時間いつでも可能！ >

WEB 上のログイン画面からいつでもニーズを検索でき、商談依頼をかけることができます。日本全国の Big Advance と連携し、ビジネスマッチング、不動産マッチング、人材マッチングなど幅広いマッチングニーズにお応えします。

< Daichimirai Big Advance のマッチング担当者が面談を調整 >

ご依頼いただいた商談については Daichimirai Big Advance のマッチング担当者が責任をもって面談設定まで調整をします。他の金融機関の Big Advance 事務局とも連携し、地域を超えたマッチングを実現しています。

◆福利厚生

< 従業員への福利厚生サービスをご提供 >

無制限に従業員アカウントを発行でき、従業員のみなさまは全国の Big Advance 参加企業がクーポンを提供する福利厚生サービス「FUKURI」をご利用いただけます。飲食店や観光、生活関連等、会社の福利厚生の充実を図るお手伝いをいたします。

< FUKURI にクーポンを掲載して集客 >

クーポンは利用するだけでなく、他の BigAdvance 利用企業の従業員向けに「FUKURI」サービス内にクーポンを掲載することができます。掲載内容は自由に決めることができ、費用も月額利用料の範囲内となっています。





◆ホームページ作成機能

<15分で会社ホームページを作成>

会社の情報収集はインターネットが主流になっています。ホームページをしっかりと準備し、会社の強みや特徴などをアピールしていくことが重要です。Big Advanceなら管理画面から指定の項目に入力するだけで手軽に会社ホームページをオープンできます。追加費用はもちろんかかりません。

<スマホ対応、SEO対応もおまかせ>

スマホやタブレットでの表示への最適化やSEO対策（Google等での検索ランキング対策）、セキュリティ対策も実施していますので、個別にサービスを申し込む必要はありません。すべてBig Advanceの基本機能に含まれています。

◆士業相談サービス

<オンライン士業相談サービス「SHARES」と連携>

弁護士、行政書士、司法書士、社会保険労務士、弁理士、公認会計士、税理士、中小企業診断士が1,500名以上待機中。契約書作成から就業規則作成、特許申請、決算資料作成まで約150のジャンルに対応し、年間2,000件以上の経営課題に対応中。経営課題解決のプロ集団が御社の経営をバックアップします。

<オンラインでいつでも依頼、最短30分でお見積>

Big Advance内からいつでも依頼ができます。依頼をお受けしてから最短30分で具体的なお見積をご提示。経営課題をスピーディに解決します。

※提示された見積もりから本申込を行う場合につきましては、月額利用料のほかに見積もりで提示された金額のお支払いが必要となります。

◆オープンイノベーション

<大手有名企業とのイノベーション企画に参加>

Big Advanceのコンセプトにご賛同いただいた数百社の大手企業様がパートナー企業として参加。自由に企画に応募し、大手有名企業とつながることができます。

<Daichimirai Big Advanceの運営事務局が面談を調整>

ご応募いただいた際のパートナー企業様との面談設定は金融機関が実施するのでより高い確率で提案の機会におつながることができます。みなさんのアイデアとパートナー企業のリソースを組み合わせることで、これまでにない新たなサービスを創出しましょう。

◆補助金検索機能

<全国やローカルで公募されている助成金の情報を毎週更新>
全国・市区町村単位での条件設定・検索が可能。必要としている公的制度のみをしっかりと情報収集することができます。検索後の助成金内容についてより詳細にご確認が必要な場合は大地みらい信用金庫にご相談ください。

3. お申込み方法

- ◆右図記載のURLもしくはQRコードより企業登録画面から各種必要事項の入力をお願いいたします。
- ◆お申込みの際は、金融機関による審査がございます。場合によっては登録をお断りするケースがあります
- ◆お支払い方法はクレジットカードのみとなっております。
- ◆対象者は企業および個人事業主となっておりますので、個人での利用はできません。
(加入企業の従業員は一部の機能を個人で利用が可能です)
- ◆ご不明な点等がございましたら、お近くの大地みらい信用金庫までご相談ください。



<http://www.daichimirai-ba.jp>

根釧の経済概況（令和元年12月末基準）：根室管内

水産：根室管内の水揚げは数量・金額ともに前年比減少。

①根室管内総水揚げ（各年1～12月）

| | 根室市 | | 根室管内3町 | | 根室管内合計 | | | |
|-----|--------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|--------|
| | 数量(t) | 金額(百万円) | 数量(t) | 金額(百万円) | 数量(t) | 前年比増減 | 金額(百万円) | 前年比増減 |
| R1 | 67,967 | 21,118 | 66,313 | 20,067 | 134,280 | ▲11.1% | 41,185 | ▲5.9% |
| H30 | 86,047 | 23,506 | 65,072 | 20,279 | 151,119 | +21.7% | 43,785 | ▲1.2% |
| H29 | 70,081 | 24,235 | 54,103 | 20,086 | 124,184 | ▲14.8% | 44,321 | ▲15.1% |
| H28 | 78,316 | 25,891 | 67,459 | 26,330 | 145,776 | ▲13.7% | 52,221 | ▲10.9% |
| H27 | 88,340 | 29,268 | 80,503 | 29,309 | 168,843 | ▲19.8% | 58,577 | +6.3% |

②秋サケ漁(根室管内・各年11月末)

| | 数量(t) | 前年比増減 | 金額(百万円) | 単価(円/kg) |
|-----|--------|--------|---------|----------|
| R1 | 8,222 | ▲23.1% | 4,907 | 597 |
| H30 | 10,686 | +59.1% | 7,651 | 716 |
| H29 | 6,716 | ▲57.5% | 7,383 | 1,099 |

サンマは記録的な不漁のH29年を大幅に下回り平成以降最低の数量となる。秋サケ漁は、魚体が前年を上回るものの数量は下回り近時は低調に推移。羅臼イカ漁はH28年より不漁が続いているものの、一部数量に回復の兆しがあり前年大幅増加。

③サンマ漁(根室・各年12月末)

| | 数量(t) | 前年比増減 | 金額(百万円) | 単価(円/kg) |
|-----|--------|--------|---------|----------|
| R1 | 16,106 | ▲61.3% | 5,941 | 368 |
| H30 | 41,616 | +52.8% | 8,641 | 207 |
| H29 | 27,237 | ▲22.8% | 9,325 | 342 |

④イカ漁(羅臼・各年12月末)

| | 数量(t) | 金額(百万円) | 単価(円/kg) |
|-----|-------|---------|----------|
| R1 | 2,669 | 1,873 | 701 |
| H30 | 168 | 73 | 435 |

酪農：根室、釧路管内ともに4～12月生乳生産量は、前年実績を上回る。

根釧管内生乳生産量（各年4～12月）

| 年度別 | 数量 (t) | 前年比 |
|-----|-----------|-------|
| R1 | 1,012,685 | +1.9% |
| H30 | 993,818 | +0.1% |
| H29 | 992,909 | ▲0.4% |
| H28 | 997,344 | +0.7% |

| 地区別 | 数量 (t) | 前年比 |
|-----|-----------|-------|
| 全道 | 2,939,184 | +2.0% |
| 十勝 | 919,944 | +3.6% |
| 北網 | 432,655 | +1.2% |
| 根室 | 613,480 | +2.9% |
| 釧路 | 399,205 | +0.4% |

生乳生産（4～12月）※生乳生産量はホクレン調べ

- 根釧管内の4～12月生乳生産量は1,012千tで前年同期比1.9%の増加。乳牛頭数の増加や良質な自給飼料を背景に増産基調が続いている。
- 道内の主要地区では、災害等の大きな減少要因なく、安定的な生産量を確保しており、根室・釧路地区を初め、十勝、北網地区でも増産となり、北海道全体でも2.0%の増産となった。

北海道内の生産状況等

- 2019年（1～12月）の統計では北海道の生乳生産量が初の400万トンの大台を突破。供給が好調である一方、新型コロナウイルスの影響による消費者の需要減少や脱脂粉乳の過剰在庫など需給のバランスが不安定となる要素もあり今後の動向に注視する必要がある。

○R1年根室管内月別伸び率(前年同月比・%)

| | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 7月 +1.5% | 8月 +0.8% | 9月 +14.3% |
| 10月 +3.2% | 11月 +2.7% | 12月 +3.6% |

家畜取引：根室市場は取引頭数が前年同期比1.6%増加。金額は同比8.8%減少。

□根室市場取引高（各年4月～12月）

| | 取扱頭数(頭) | 前年比 | 金額(百万円) | 前年比 | 単価(千円) |
|-----|---------|-------|---------|-------|--------|
| R1 | 29,215 | +1.6% | 8,508 | ▲8.8% | 291 |
| H30 | 28,748 | ▲0.3% | 9,327 | +8.6% | 324 |
| H29 | 28,822 | ▲6.7% | 8,590 | ▲2.9% | 298 |

□別海市場取引高（各年4月～12月）

| | 取引頭数(頭) | 金額(百万円) |
|-----|---------|---------|
| R1 | 6,426 | 1,273 |
| H30 | 6,519 | 1,549 |
| 前年比 | ▲1.4% | ▲17.8% |

□種類別価格(根室市場)

| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 初生ホルスタイン社 (単位：千円) | 102.4 | 83.2 | 76.0 | 74.8 | 77.5 | 87.8 |
| 肉牛ホルスタイン経産牛 (単位：千円) | 198.5 | 183.1 | 169.9 | 167.9 | 166.6 | 169 |

貿易：輸出は一般機械が増加するも、輸送用機器等の減少により全体では2年連続の減少。

輸入は生鮮魚介類、冷凍魚介類ともに前年を上回り、全体では2年連続の増加。

(R1年1～12月貿易実績・根室税関支所発表・)内前年同期比)

【総額】67億52百万円(+16.1%) 外国貿易船の入港隻数368隻(前年比+7隻)

【輸出】95百万円(▲5.2%) 一般機械 34百万円(+3.4倍)、輸送用機器 (17百万円 ▲68.8%)、冷凍魚介類 7.7百万円(+5.0倍)

【輸入】66億56百万円(+16.5%) 生鮮魚介類 62億93百万円(+13.5%) 内 カニ 23百万円(+3.9倍) 活ウニ62億66百万円(+13.2%) 冷凍魚介類 2億67百万円(+79.2%) 内 サケ・マス 1億98百万円(+463倍)

根釧の経済概況（令和元年12月末基準）：釧路地区

■釧路港の水揚げは数量、金額ともに前年比増加。厚岸港の水揚げは数量、金額ともに前年実績を下回る。

①釧路港総水揚げ高（各年1～12月）

| | 全体 | | | |
|-----|---------|--------|---------|--------|
| | 数量(t) | 前年比増減 | 金額(百万円) | 前年比増減 |
| R1 | 172,268 | +41.3% | 8,330 | +1.1% |
| H30 | 121,878 | ▲12.7% | 8,238 | ▲19.2% |
| H29 | 139,678 | +22.3% | 10,203 | +1.0% |
| H28 | 114,207 | ▲0.7% | 10,099 | ▲16.8% |
| H27 | 114,977 | ▲11.9% | 12,142 | ▲5.0% |

| | （うち、スケソ） | | | | 単価(円/kg) |
|--|----------|--------|---------|--------|----------|
| | 数量(t) | 前年比増減 | 金額(百万円) | 前年比増減 | |
| | 30,987 | ▲1.7% | 1,780 | ▲11.9% | 57 |
| | 31,514 | ▲23.2% | 2,021 | ▲6.6% | 64 |
| | 41,087 | +4.1% | 2,165 | ▲5.7% | 53 |
| | 39,487 | ▲22.2% | 2,296 | ▲28.6% | 58 |
| | 50,726 | ▲10.1% | 3,216 | ▲6.6% | 63 |

②釧路港魚種・漁港別水揚げ（R1年1～12月）

| 主な魚種 | 数量(t) | 前年比増減 | 金額(百万円) | 前年比増減 |
|-------|---------|--------|---------|--------|
| サンマ | 1,279 | ▲76.3% | 298 | ▲66.6% |
| サケ・マス | 51 | ▲50.5% | 31 | ▲45.1% |
| スケソ | 30,987 | ▲1.7% | 1,780 | ▲11.9% |
| マダラ | 6,024 | +14.6% | 1,196 | ▲0.7% |
| イカ | 112 | ▲4.3% | 58 | +16.8% |
| カレイ類 | 591 | ▲15.3% | 141 | ▲31.7% |
| イワシ | 129,235 | +77.8% | 3,852 | +55.7% |
| サバ | 423 | ▲68.9% | 56 | ▲73.2% |
| ホッケ | 35 | 2.9倍 | 16 | 10.2倍 |

③厚岸港水揚げ高（各年1～12月）

| | 数量(t) | 前年比増減 | 金額(百万円) | 前年比増減 |
|-----|--------|--------|---------|--------|
| R1 | 13,347 | ▲23.1% | 3,686 | ▲21.2% |
| H30 | 17,366 | +21.6% | 4,677 | +0.7% |

④厚岸港魚種別水揚げ（R1年1～12月）

| 主な魚種 | 数量(t) | 前年比増減 | 金額(百万円) | 前年比増減 |
|------|-------|--------|---------|--------|
| サンマ | 3,952 | ▲62.2% | 975 | ▲50.7% |
| 秋サケ | 13 | ▲69.2% | 6 | ▲74.1% |
| あさり | 998 | +10.8% | 435 | +3.6% |
| かき | 751 | +1.9% | 662 | +11.5% |
| つぶ | 447 | ▲19.7% | 274 | ▲9.4% |

【釧路港水揚げ】

- ・R1年水揚げ数量は前年同期比41.3%増加、金額は同1.1%増加。
- ・魚種別にみると、サンマやサケ、サバが減少した一方、イワシが前年同期比大幅増加。全体の数量大幅増加に寄与する一方、単価は低く全体の金額は微増。
- ・近時はイワシが増加傾向にあるものの、イカやサバは低調な推移が続いている。

【厚岸港水揚げ】

- ・R1年水揚げ数量は前年比23.1%減少、金額は同21.2%減少。
- ・魚種別にみると、主力のサンマは、数量で前年比69.2%と大幅減少、金額は同50.7%減少。根付け資源であるあさりは堅調な出荷となり、数量・金額ともに前年比増加。かきは数量・金額ともに前年実績を上回る。

製紙：R1年4～12月生産量は市内2工場で452千トン、前年比同期比13.5%減少。

- ・釧路市内2工場の第3四半期の生産状況は、146千トンで前年同期比21.9%減少。用途別でみると、新聞用紙は25千トンで前年同期比48.5%減少。印刷用紙は12千トンで同比33.8%減少。段ボールは95千トンで前年並。
- ・段ボール需要は堅調に推移しており、前年同期並みの生産量を維持するものの、電子媒体の普及等による需要減少により抄紙機を1機停止した新聞紙の減少幅大きく、全体では前年同期比を下回る。

観光：R1年4～12月スポット別の観光客入込み数

- ・令和1年度（12月まで）観光客入込み総数1,027千人で前年同期比0.4%増加。航空での入込みは、道外から釧路への降客が223千人で同比1.7%増加。
- ・主な観光スポットでの入込み数をみると、阿寒湖遊覧船106千人（同4.7%減少）、丹頂鶴自然公園63千人（同13.6%増加）、湿原展望台79千人（同16.1%増加）、MOO554千人（同2.3%減少）

貿易：輸出は鉄鋼くずが減少するも、紙類・同製品等の増加により前年比増加。輸入はとうもろこしが増加したものの、肥料および魚介類・同調整品の減少等により前年同期比減少。

（R1年1～12月貿易実績・釧路税関支所発表・（ ）内前年同期比）

【総額】 938億57百万円(▲14.3%) 釧路港外国貿易船入港数 412隻 (+58隻)

【輸出】 124億92百万円(+9.4%)

・魚介類37億41百万円(+7.5%) ・紙類・同製品31億96百万円(+40.3%) 鉄鋼くず33億27百万円(▲12.4%)

【輸入】 813億65百万円(▲17.0%)

・とうもろこし 191億69百万円 (+9.5%)、肥料 143億81百万円 (▲39.7%)
 ・飼料 121億85百万円(+9.6%) ・石炭 89億94百万円(+7.9%)
 ・魚介類・同調整品 52億19百万円(▲46.7%)

全国・全道の経済概況（令和元年12月末基準）

住宅着工戸数

全国

■ R1年4～12月合計は689千戸で前年同期比6.5%減少。利用別では、持家が増加するも貸家・給与が大幅減少。

| 月別 | | | |
|-----------|---------|--------|--------|
| | 着工戸数(戸) | 前年比 | |
| R1年 12月 | 72,174 | ▲7.9% | |
| R1年 11月 | 73,523 | ▲12.7% | |
| R1年 10月 | 77,123 | ▲7.4% | |
| R1年 9月 | 77,915 | ▲4.9% | |
| R1年 8月 | 76,034 | ▲7.1% | |
| R1年 7月 | 79,232 | ▲4.1% | |
| R1年4～12月計 | | | |
| | 689,512 | ▲6.5% | |
| 内訳 | | | |
| 持家 | +0.5% | 貸家 | ▲15.5% |
| 給与 | ▲25.2% | 分譲 | +0.3% |

■ R1年4～12月合計は、前年同期比9.9%増加。工事請負契約額は月別にみると全ての月で前年を上回る。

| 月別 | | |
|-----------|-------------|--------|
| | 工事請負契約額(億円) | 前年比 |
| R1年 12月 | 11,060 | +3.0% |
| R1年 11月 | 10,970 | +7.2% |
| R1年 10月 | 13,347 | +2.1% |
| R1年 9月 | 16,653 | +9.4% |
| R1年 8月 | 13,254 | +4.2% |
| R1年 7月 | 15,257 | +26.1% |
| 年別 | | |
| | 工事請負契約額(億円) | 前年比 |
| R1年 4～12月 | 114,219 | +9.9% |
| 30年 4～12月 | 103,939 | ▲8.2% |
| 29年 4～12月 | 113,194 | +1.0% |

公共工事請負高

■ R1年4～12月合計は、6,389件で前年同期比4.9%増加。負債額は9,459億円で同比13.0%の減少。

| 月別推移 (金額単位：億円) | | | | |
|----------------|-------|--------|-------|--------|
| | 件数(件) | 前年比 | 負債額 | 前年比 |
| R1年 12月 | 708 | +12.9% | 1,596 | 2.1倍 |
| R1年 11月 | 724 | +2.5% | 1,307 | +5.6% |
| R1年 10月 | 785 | +5.1% | 910 | ▲19.3% |
| R1年 9月 | 687 | +16.8% | 1,059 | ▲43.3% |
| R1年 8月 | 669 | ▲1.2% | 837 | ▲25.9% |
| R1年 7月 | 783 | +13.6% | 916 | ▲10.4% |
| R1年4～12月 | 6,389 | +4.9% | 9,459 | ▲13.0% |

企業倒産動向

■ R1年7-9月の延旅行者数は、前年同期比0.2%の増加。四半期別にみると、3四半期続けて同比增加。

| | 延旅行者数(千人) | 前年同期比 |
|------------|-----------|--------|
| R1年7～9月 | 106,249 | +0.2% |
| R1年4～6月 | 105,044 | +11.9% |
| R1年1～3月 | 75,162 | +2.1% |
| H30年10～12月 | 80,260 | ▲7.3% |

| 年度別 (前年同期比) | | |
|-------------|---------|-------|
| 30年度 | 355,402 | ▲6.7% |
| 29年度 | 380,748 | ▲0.6% |
| 28年度 | 382,776 | +3.5% |

観光客入込動向

全道

■ R1年4～12月合計は27千戸で前年同期比10.4%減少。利用別では分譲が増加するも貸家・給与は大幅減少。

| 月別 | | | |
|-----------|---------|--------|--------|
| | 着工戸数(戸) | 前年比 | |
| R1年 12月 | 2,429 | ▲6.0% | |
| R1年 11月 | 2,573 | ▲19.1% | |
| R1年 10月 | 2,629 | ▲31.6% | |
| R1年 9月 | 2,739 | ▲13.1% | |
| R1年 8月 | 3,186 | ▲6.9% | |
| R1年 7月 | 3,443 | ▲2.8% | |
| R1年4～12月計 | | | |
| | 27,154 | ▲10.4% | |
| 内訳 | | | |
| 持家 | +1.8% | 貸家 | ▲22.9% |
| 給与 | ▲12.1% | 分譲 | +18.5% |

■ R1年4～12月合計は、前年同期比11.5%増加。発注機関別では、独立行政法人を除き、全ての機関で前年同期を上回る。

| 年別 | | |
|------------------|--------------|--------|
| | 前払保証請負額(百万円) | 前年比 |
| R1年4～12月 | 862,155 | +11.5% |
| H30年4～12月 | 772,914 | ▲3.1% |
| H29年4～12月 | 797,717 | +5.3% |
| H28年4～12月 | 757,898 | +3.2% |
| 発注機関別 (R1年4～12月) | | |
| | 前払保証請負額(百万円) | 前年比 |
| 国 | 271,062 | +25.0% |
| 道内市町村 | 250,811 | +9.3% |
| 道 | 204,837 | +13.5% |
| 独立行政法人等 | 64,008 | ▲1.3% |
| 地方公社 | 2,358 | +14.5% |

■ R1年4～12月合計は、152件で前年同期比1.3%減少、負債額は237億円で同比52.9%の増加

| 月別推移 (金額単位：億円) | | | | |
|----------------|-------|--------|-----|--------|
| | 件数(件) | 前年比 | 負債額 | 前年比 |
| R1年 12月 | 17 | ▲5.6% | 46 | 2.8倍 |
| R1年 11月 | 14 | ▲12.5% | 19 | +3.0% |
| R1年 10月 | 13 | +8.3% | 28 | +29.6% |
| R1年 9月 | 13 | ▲13.3% | 24 | +26.6% |
| R1年 8月 | 20 | +17.6% | 29 | 2.2倍 |
| R1年 7月 | 15 | +7.1% | 3 | ▲54.5% |
| R1年4～12月 | 152 | ▲1.3% | 237 | +52.9% |

■ R1年7-9月の延旅行者数は、前年同期比7.7%増加。四半期別にみると、2四半期続けて同増加。

| | 延旅行者数(千人) | 前年同期比 |
|------------|-----------|--------|
| R1年7～9月 | 5,164 | +7.7% |
| R1年4～6月 | 4,525 | +12.2% |
| R1年1～3月 | 2,404 | ▲8.0% |
| H30年10～12月 | 2,581 | ▲13.4% |

| 年度別 (前年同期比) | | |
|-------------|--------|--------|
| 30年度 | 13,811 | ▲16.4% |
| 29年度 | 16,520 | ▲8.4% |
| 28年度 | 17,191 | ▲4.0% |

根釧の経済概況（令和元年12月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

観光客入込動向

根室

■ R1年4～12月合計は45戸で前年同期比18.2%減少。
利用別では、持家が増加するも貸家が同減少。

□根室市住宅着工戸数

| | | 月別 | | |
|-----|-------|-------|--------|--------|
| | | 戸数(戸) | 前年比(戸) | 前年比 |
| R1年 | 4～12月 | 45 | ▲10 | ▲18.2% |
| R1年 | 12月 | 2 | ▲12 | ▲85.7% |
| R1年 | 11月 | 4 | +1 | +33.3% |
| R1年 | 10月 | 3 | +1 | +50.0% |
| R1年 | 9月 | 3 | ▲10 | ▲76.9% |
| R1年 | 8月 | 2 | ▲6 | ▲75.0% |

| | | 年別・利用別 | | | | | |
|-----|-------|--------|----|----|----|----|--------|
| | | 持家 | 貸家 | 給与 | 分譲 | 合計 | 前年比 |
| R1年 | 4～12月 | 35 | 10 | 0 | 0 | 45 | ▲18.2% |
| 30年 | 4～12月 | 33 | 21 | 1 | 0 | 55 | ▲15.4% |
| 29年 | 4～12月 | 52 | 11 | 2 | 0 | 65 | +44.4% |

■ R1年4～12月合計は、前年同期比28.7%増加。工事種類別では、
主要工事である一般土木、建築ともに前年同期比増加。

| 年別 | | |
|-----------|--------------|--------|
| | 前払保証請負額(百万円) | 前年比 |
| R1年4～12月 | 26,465 | +28.7% |
| H30年4～12月 | 20,558 | +0.3% |
| H29年4～12月 | 20,493 | ▲19.8% |
| H28年4～12月 | 25,545 | +22.7% |

| 工事種類別 (R1年4～12月) | | |
|------------------|--------------|--------|
| | 前払保証請負額(百万円) | 前年比 |
| 一般土木 | 13,935 | +6.3% |
| 舗装 | 1,596 | +43.0% |
| 建築 | 5,231 | +97.5% |
| 電気 | 2,334 | 6.5倍 |
| 管 | 999 | +64.6% |

■ R1年4～12月の倒産件数は、市内0件、管内全体は1件。
件数・負債額ともに市内・管内は前年同期比減少。

| 各年(4～12月) | 【根室管内】 | | 【うち、根室市】 | |
|-----------|--------|----------|----------|----------|
| | 件数 | 負債額(百万円) | 件数 | 負債額(百万円) |
| R1年4～12月 | 1 | 98 | 0 | 0 |
| 30年4～12月 | 4 | 166 | 1 | 42 |
| 29年4～12月 | 7 | 2,864 | 1 | 312 |
| 28年4～12月 | 4 | 590 | 2 | 106 |
| 27年4～12月 | 6 | 1,444 | 1 | 370 |
| 26年4～12月 | 3 | 507 | 2 | 453 |

■ R1年7-9月の観光入込客数は、前年同期比12.7%増加。
四半期別にみると、3四半期続けて同増加。

| | 観光入込客数(千人) | 前年同期比 |
|------------|------------|--------|
| R1年7～9月 | 1,077 | +12.7% |
| R1年4～6月 | 480 | +28.4% |
| R1年1～3月 | 184 | +8.3% |
| H30年10～12月 | 222 | ▲9.4% |

| 年度別 (前年同期比) | | |
|-------------|-------|-------|
| 30年度 | 1,736 | ▲8.6% |
| 29年度 | 1,900 | +2.9% |
| 28年度 | 1,847 | ▲3.0% |

釧路

■ R1年4～12月合計は595戸で前年同期比9.6%減少。
利用別では貸家・給与が前年同期比減少。

□釧路市住宅着工戸数

| | | 月別 | | |
|-----|-------|-------|--------|--------|
| | | 戸数(戸) | 前年比(戸) | 前年比 |
| R1年 | 4～12月 | 595 | ▲63 | ▲9.6% |
| R1年 | 12月 | 47 | +4 | +9.3% |
| R1年 | 11月 | 90 | ▲37 | ▲29.1% |
| R1年 | 10月 | 67 | ▲43 | ▲39.1% |
| R1年 | 9月 | 49 | +14 | +40.0% |
| R1年 | 8月 | 35 | ▲24 | ▲40.7% |

| | | 年別・利用別 | | | | | |
|-----|-------|--------|-----|----|-----|-------|--------|
| | | 持家 | 貸家 | 給与 | 分譲 | 合計 | 前年比 |
| R1年 | 4～12月 | 284 | 266 | 2 | 43 | 595 | ▲9.6% |
| 30年 | 4～12月 | 285 | 323 | 14 | 36 | 658 | ▲37.0% |
| 29年 | 4～12月 | 297 | 494 | 84 | 170 | 1,045 | +33.8% |

■ R1年4～12月合計は、前年比同期比11.5%増加。工事種類別では、
主要工事である一般土木、建築ともに前年同月比増加。

| 年別 | | |
|-----------|--------------|--------|
| | 前払保証請負額(百万円) | 前年比 |
| R1年4～12月 | 43,158 | +11.4% |
| H30年4～12月 | 38,754 | +13.1% |
| H29年4～12月 | 34,267 | ▲10.5% |
| H28年4～12月 | 38,276 | +4.4% |

| 工事種類別 (R1年4～12月) | | |
|------------------|--------------|--------|
| | 前払保証請負額(百万円) | 前年比 |
| 一般土木 | 20,946 | +18.1% |
| 舗装 | 1,873 | ▲38.0% |
| 建築 | 11,311 | +11.8% |
| 電気 | 2,721 | +39.3% |
| 管 | 947 | ▲34.3% |

■ R1年4～12月の倒産件数は市内4件と前年同期比減少、管内全体
では8件と前年並。負債額は市内が前年同期比減少するも、
管内は同増加。

| 各年(4～12月) | 【釧路管内】 | | 【うち、釧路市】 | |
|-----------|--------|----------|----------|----------|
| | 件数 | 負債額(百万円) | 件数 | 負債額(百万円) |
| R1年4～12月 | 8 | 1,004 | 4 | 330 |
| 30年4～12月 | 8 | 495 | 7 | 482 |
| 29年4～12月 | 14 | 1,738 | 12 | 1,616 |
| 28年4～12月 | 12 | 1,019 | 7 | 315 |
| 27年4～12月 | 16 | 3,706 | 10 | 2,720 |
| 26年4～12月 | 19 | 3,829 | 15 | 3,506 |

■ R1年7-9月の観光入込客数は、前年同期比8.6%減少。
四半期別にみると、3四半期続けて同増加。

| | 観光入込客数(千人) | 前年同期比 |
|------------|------------|-------|
| R1年7～9月 | 3,264 | +8.6% |
| R1年4～6月 | 2,124 | +8.3% |
| R1年1～3月 | 1,498 | +5.5% |
| H30年10～12月 | 1,619 | ▲3.3% |

| 年度別 (前年同期比) | | |
|-------------|-------|--------|
| 30年度 | 8,085 | ▲0.2% |
| 29年度 | 8,098 | +11.3% |
| 28年度 | 7,278 | 前年並 |



2020.6

MIRAI REPORT ISSUE.002

 **大地みらい**信用金庫 地域みらい創造センター